

■ 常設展

木下晋展

西日本新聞(朝刊) H22.4.4 ミュージアムめぐり87 学芸員のいちおし／福岡市美術館／木下晋展／鉛線に凝縮する人生／(山口洋三・福岡市美術館学芸員)

藤森静雄の版画

西日本新聞(朝刊) H22.5.30 ミュージアムめぐり94 学芸員のいちおし／福岡市美術館／藤森静雄の版画／素朴な詩情 鋭敏に／(山本香瑞子・福岡市美術館学芸員)

生誕135年記念 茶人・松永安左エ門

茶道雑誌 第74巻 第7号 pp.21-29 福岡市美術館 松永記念館室 誕135年記念 茶人・松永耳庵／構成・解説 岩永悦子
(2010年7月1日発行 河原書店)

書道界 通巻249号 p.32 福岡市美術館 「生誕135年 茶人・松永安左工門」
(2010年8月15日発行 藤樹社)

夏休みこども美術館2010 こどもギャラリー「ここはどこ?〜アートで行こう・ふしぎの旅〜」

毎日新聞(朝刊) H22.8.15 館長室や警備室見学／福岡市立美術館 小学生対象探検ツアー／川名壮志

福岡市政だよりNo.1437 (2010年8月1日発行) 夏休みおでかけ情報／福岡市美術館／夏休みこども美術館2010

うふふ福岡8月号 (2010年7月25日発行) ART／夏休みこども美術館2010こどもギャラリー「ここはどこ?〜アートで行こう・ふしぎの旅〜」

■ 常設企画展

藍染の美―筒描

佐賀新聞(朝刊) H23.2.11 「筒描」の美華麗に70点／来月27日まで、福岡市美術館

Messa-jyu No.166 2011年2月号 EVENT／藍染の美―筒描
(2011年1月25日発行)

月刊ながさきPRESS No.321 2011年2月号 EVENT & ART Information／藍染の美―筒描／日本人に受け継がれてきた庶民が描く伝統的な「美」

月刊はかた 2011年2月号(2011年2月1日発行) ギャラリー情報／常設企画展 藍染の美―筒描

ザ・ながさき(2011年2月4日発行) ART／藍染の美―筒描／江戸時代から戦前にかけて制作された名品

おい街 No.396(2010年2月28日発行) 藍の美しさを最大限に引き出す「筒描」の名品を一挙に紹介!／藍染の美―筒描／開催中〜3月27日(日)

芸術新潮 2011年3月号 p.129 Stardust／出雲の国では孫にも意匠／「藍染の美―筒描」より
(2011年3月25日発行)

HALI ISSUE 167 SPRING 2011 CONTEXT EXHIBITIONS／TSUTSUGAKI／ETSUKO IWANAGA／Introduced here by its curator, a recent exhibition of
pp.132-135 (2011年3月発行) tsutsugaki paste-resist-dyed folk textiles at the Fukuoka Art Museum confirmed the institntion's commitment to the
display and publication of the textile arts, both Japanese and foreign.

第9回21世紀の作家―福岡 大浦こころ展

毎日新聞(朝刊) H23.1.10 一福岡市美術館で大浦こころ展―／優しく柔らかな人間関係

日本経済新聞(夕刊) H23.1.20 アプローチ九州／大浦こころ展「やわらかな圧力」の可能性／(川浪千鶴)

読売新聞(夕刊) H23.2.15 美術散策／大浦こころ展「やわらかな圧力」／捉えられぬ光へ魂刻む／(美術家・元村正信)

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術のより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成 9 年より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解できるよう、ボランティアのギャラリートークをはじめ、小・中学校の教員とともにワークショップなどを行っている。

市内の小・中学校等に対するギャラリートัวร์（スクールツアー・プログラム）

平成 22 年

4月21日(水) 福岡インターナショナルスクール 4、5 年生	児童22人	引率3人
4月21日(水) 壱岐丘中学校2年生(*)	生徒82人	引率5人
6月 2日(水) 玄界中学校2年生(*)	生徒4人	引率3人
6月 4日(金) 姪浜中学校1年生(*)	生徒348人	引率17人
6月 9日(水) 香椎第一中学校2年生(*)	生徒242人	引率12人
6月24日(木) 友泉中学校1年生(*)	生徒283人	引率7人
7月 2日(金) 柏原中学校2年生(*)	生徒173人	引率8人
7月 9日(金) 西福岡中学校1年生(*)	生徒150人	引率5人
7月22日(木) 三宅中学校美術部	生徒22人	引率2人
7月24日(土) 福岡市小学校図画工作教育研究会 (教員のための鑑賞指導研修)	教員11人	
8月18日(水) 福岡東部こども劇場小学1年~中学2年	児童22人	一般大学生6人
9月 9日(木) 東住吉中学校1年生	生徒71人	引率5人
10月14日(木) 北崎中学校1、2年生(*)	生徒42人	引率8人
10月15日(金) 多々良中央中学校1年生(*)	生徒183人	引率9人
10月21日(木) 草ヶ江小学校5年生(*)	児童140人	引率6人
10月22日(金) 草ヶ江小学校6年生(*)	児童124人	引率6人
10月26日(火) 草ヶ江小学校3年生(*)	児童127人	引率 4 人
10月27日(水) 草ヶ江小学校4年生(*)	児童102人	引率3人
10月29日(金) 当仁小学校4年生	児童85人	引率5人
11月19日(金) 福岡雙葉小学校5年生	児童114人	引率6人
11月26日(金) 舞鶴中学校2年生	生徒69人	引率6人
11月26日(金) 香椎第二中学校2、3年生	生徒7人	引率1人
12月 8日(水) 香椎小学校6年生	児童106人	引率4人
12月 8日(水) 小田部小学校5年生	児童119人	引率4人
12月16日(水) 松崎中学校1年生(*)	生徒146人	引率10人
12月22日(水) 東吉塚小学校5年生	児童81人	引率4人

平成 23 年

1月14日(金) 城南小学校5年生	児童134人	引率4人
1月18日(火) 南当仁小学校1年生	児童106人	引率5人
1月19日(水) 城南中学校2年生(*)	生徒296人	引率13人
1月28日(金) 宮竹小学校5年生	児童145人	引率6人
2月 2日(水) 横手中学校特別支援学級1~3年生	生徒8人	引率3人
2月 3日(木) 千早小学校5年生	児童82人	引率3人
2月 3日(木) 城香中学校1年生(*)	生徒82人	引率8人
2月 4日(金) 那珂南小学校5年生	児童88人	引率4人
2月11日(金) 友泉中学校美術部1、2年生	生徒19人	引率1人
2月15日(火) 東花畑小学校5年生	児童77人	引率2人
2月16日(水) 西長住小学校5年生	児童62人	引率4人
2月16日(水) 長住小学校5年生	児童81人	引率4人
2月17日(木) 七隈小学校5年生	児童87人	引率4人
2月18日(金) 松島小学校特別支援学級1~6年生	児童10人	引率2人
2月18日(金) 臼佐中学校2年生(*)	生徒133人	引率8人
2月22日(火) 周船寺小学校5年生	児童66人	引率3人
2月23日(水) 周船寺小学校5年生	児童65人	引率3人
2月24日(木) 香住丘小学校5年生	児童142人	引率5人
2月24日(木) 玄界小学校6年生、中学校3年生	児童/生徒5人	引率2人
2月25日(金) 愛宕小学校6年生	児童142人	引率5人
2月25日(金) 有田小学校5年生(*)	児童98人	引率3人
2月25日(金) 筑紫丘中学校2年生(*)	生徒151人	引率7人
3月23日(水) 南当仁小学校2年生、5年生	児童155人	引率6人

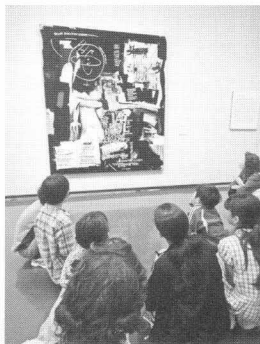
(*)は体験学習による来館校

福岡市立南当仁小学校の図画工作科授業研究への協力

福岡市立南当仁小学校は、平成22年度国立教育政策研究所教育課程研究センターの指定を受け、図画工作科の授業研究と研究発表会を行った。当館では、平成22年10月8日に開催された発表会に向けて、事前の打合せから授業案作成と実施に対する協力までを行った。

発表会開催日：平成22年10月8日(金)

授 業：「本物をみにいこう！美術館にLet's Go!」(2年1組、5年1組)
「尾形乾山『花籠図』を味わう」(6年3組)



中学校交流ワークショップ2010「つなごう」

当館では中学生の美術館利用や美術鑑賞を推し進めるため、2001年より福岡市の中学校美術部有志と共同してワークショップを実施している。今年度は、美術館の作品等から着想を得たスタンプや団扇のデザインを中学生が作り、美術館とNHK福岡放送局を会場にスタンプラリーを実施した。

日 時：平成22年7月24日(土)、25日(日)

参 加 校：内浜中学校、香椎第一中学校、筑紫ヶ丘中学校、当仁中学校、原中学校、東住吉中学校、舞鶴中学校、和白丘中学校 (50音順、いずれも福岡市立)

参加生徒数：24日 48人、25日 51人

会 場：福岡市美術館、NHK福岡放送局

主 催：福岡市中学校美術教育研究会、福岡市美術館

協 力：NHK福岡放送局



夏休み子ども美術館2010

子どもたちに当館の所蔵品に親しみ、美術に接してもらうため、展示やギャラリートーク等を組み合わせた複合的な教育普及プログラムとして本事業を実施している。平成22年度は「旅」をテーマにした企画を行った。

子どもギャラリー「ここはどこ?～アートで行こう・ふしぎの旅～」

「旅」をテーマに、風景や景観をとらえた近現代の美術作品を合計15点展示した。それらの作品をたどる過程を架空の「旅」に見立て、来場者に親しみやすく、かつじっくりと鑑賞してもらえるように、リーフレットを作成、配布した。

会 期：平成22年7月21日(水)～9月5日(日)

会 場：企画展示室

観 覧 料：常設展示観覧料(p.12参照)



子どもワークショップ「旅を旅する、絵画教室」

子どもと保護者がペアで参加するワークショップ。保護者が大濠公園へ「旅」に出で、行く先で見た風景やいろいろなものを携帯電話で伝え、それを受け取った子どもたちは、説明の言葉を頼りに風景を描いた。

日 時：平成22年8月8日(日)、22日(日)

会 場：実技講座室

講 師：鈴木 淳氏 (美術家)

対 象：小学3年生～中学生とその保護者(各日10組20名)

参 加 費：1組500円

参加者数：両日合わせて17組34人

協 力：株式会社ウィルコム



美術館探検

普段来館者が入ることのできない美術館のバックヤードを、学生アシスタントの案内によって、子どもたちが探検した。作品が展示室に飾られる前後にどのように管理されているのか、どのような人々が働いているのかを知ってもらい、その後、アシスタントとともに子どもギャラリーで作品鑑賞を行った。

日 時：平成22年8月11日(水)、14日(土)、18日(水)、21日(土)、25日(水)
の午前10時と午後1時の2回(各回1時間)

対 象：小学生・各回15人

参 加 費：無料。保護者は常設展示観覧料が必要。

参加者数：子ども153人、保護者99人

学生アシスタント：大学生27名



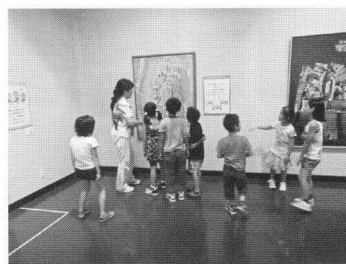
ギャラリーツアーforキッズ！夏休み特別版

当館ギャラリーガイドボランティアによる、こども向けのギャラリートーク。ボランティアが常設展示の作品を3点選び、こどもと対話をしながら、わかりやすく作品を紹介した。なお、大人の参加も可とした。

日 時：平成22年7月21日(水)～9月5日(日)
休館日を除く毎日午後2時30分から40分程度。

参 加 費：中学生以下は無料。保護者は常設展示観覧料が必要。

参加者数：こども163人 大人110人



夏休みこどもとしゃかん「よんで、みて、旅しよう！本の中の世界」

期 間：平成22年7月21日(水)～9月5日(日)

会 場：読書室

内容はp.24を参照。

印刷物 チラシ(A4)、リーフレット(1/4B2・8つ折り)、マグネット3種

関連記事 p.18を参照。

講座

いまさらきけない!? アートのキ・ホ・ンvol.1

「ビエンナーレって、なんね？」

ちまたに飛び交う、アートをめぐる言葉の数々。「よく聞くんだけど、どういう意味？」と思うようなアートのキーワードを一つ取り上げ、それをめぐって専門家の講師に基礎から話していただくセミナー。今回は2011年がヴェネツィア・ビエンナーレの年であることにちなんで「ビエンナーレ」をキーワードとし、山口大学人文学部准教授・藤川哲氏に2回にわたる講演をいただいた。

<2回連続講座>

第1回 「ヴェネツィア・ビエンナーレの歴史と日本の参加」

日 時：平成23年2月26日(土) 午後2時～3時30分

第2回 「世界のビエンナーレとトリエンナーレ」

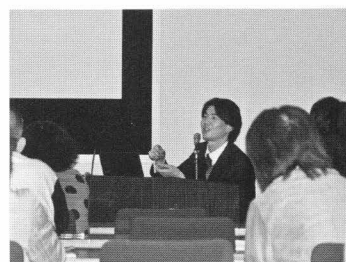
日 時：平成22年3月5日(土) 午後2時～3時30分

講 師：藤川 哲氏(山口大学人文学部准教授)

会 場：教養講座室

定 員：50人

参加者数：第1回 35人、第2回 31人



つくって！わかる？アート講座vol.5

「布に模様をえがく：藍染型抜染」

本講座は、実技を通して、美術の表現や技法に対する理解を深めることを目的としている。本年は染色作家の藤本祥子氏を講師に招き、参加者が自ら意匠を考えて型を彫り、抜染の技法を用いて藍染の風呂敷を制作した。導入部では参加者が作品鑑賞と作品制作の経験が結びつけられるように、岩永学芸員による「藍染の美ー簡描」展のギャラリートークを行った。

日 時：平成23年3月19日(土) 午前11時～午後5時、3月20日(日) 午前10時～午後5時

講 師：藤本祥子氏(染色家・九州産業大学非常勤講師)

参 加 費：1,000円

定 員：15歳以上15人

参加者数：14人



開館記念事業

図録フェア

平成 21 年度までに福岡市美術館で開催された展覧会図録で在庫のあるものを、定価の 2 ～ 3 割引で販売した。

日 時：平成 22 年 11 月 3 日(水・祝)
会 場：2 階ロビー

第2回福岡ミュージアムウィーク

福岡市では、市民の方々に福岡やアジアの歴史、伝統、芸術、文化により広く、深く、興味を持っていただくとともに、多くの方々に美術館、博物館の役割を広く知ってもらうために制定された「国際博物館の日」(5 月 18 日)の趣旨に賛同し、美術館、アジア美術館、博物館の 3 館が連携し、様々な事業を企画・実施したものである。

期 間：平成 22 年 5 月 15 日(土)～5 月 23 日(日)

常設展観覧料無料

観覧者数：2,295 人(期間中)

スタンプラリー

3 館を巡りスタンプを集めて応募された方の中から抽選で特別展観覧券などの賞品を贈呈した。

応募者数：97 枚

講演会「シアトル美術館 日本・東洋美術コレクションの魅力」

内容は P.6 を参照。

講演会「社会の窓から見たニッポン」

ファインダーを通して見るニッポン社会を、写真を交えながら講演していただいた。

日 時：平成 22 年 5 月 29 日(土) 午後 2 時～4 時
講 師：都築響一氏(編集者・写真家)
会 場：講堂
聴講者数：185 人



バックヤードツアー

普段は見ることのできない美術館の裏側を案内し、美術館の機能を紹介するツアー。

日 時：平成 22 年 5 月 23 日(日) 午後 1 時～2 時
定 員：20 人(先着順)
参加者数：17 人

ギャラリーツアー

当館のギャラリーガイドボランティアが常設展示を案内するツアー。

日 時：期間中、毎日午前 11 時からと午後 2 時からの 2 回(40 分程度)
参加者数：55 人(12 回合計)

アートクイズ

ミュージアムウィーク期間中、常設展示室内で、所蔵品に関わるさまざまなクイズを出題。参加者はクイズに答えながら作品鑑賞を行うというもの。毎日、先着 5 名に景品を贈呈した。

参加者数：57 人

「黒田節ロボット参上」

平成 21 年にロボスクエアで開発された、黒田節を舞うロボットのパフォーマンスを披露

日 時：平成 22 年 5 月 23 日(日) 午前 10 時 30 分～10 時 45 分
場 所：1 階ロビー



連携事業

期間中、当館のレストランやブックショップにて割引サービスを行った。

印刷物 ポスター (B2)、チラシ (A4)、スタンプ台紙 (A4)

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により受け入れた。実習期間は平成 22 年 5 月 1 日から同年 11 月 30 日のうち 10 日間。

■西南大学

堤由美子 文学部 英文学科 (3 年生)
古瀬麻衣子 国際文化学部 国際文化学科 (3 年生)

■九州産業大学

松本梢 芸術学部 デザイン学科 (4 年生)
吉村和也 国際文化学部 国際文化学科 (4 年生)

■福岡大学

浦田知佳 人文学部 文化学科
麻生真里絵 人文学部 文化学科

■お茶の水大学

前田碧 生活科学部 人間生活学科

■筑紫女学園大学

落合裕梨 文学部 日本語・日本文学科 (4 年生)
谷口彩子 文学部 日本語・日本文学科 (4 年生)

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度 校を受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行った。

平成 22 年 9 月 7 日(火) 福岡市立城南中学校 5 名

平成 22 年 9 月 14 日(火) 福岡市立平尾中学校 5 名

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

■常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を集めた。

■特別展関連図書特集

- ・平成22年5月18日(火)―7月19日(月・祝) 「シアトル美術館所蔵 日本・東洋美術名品展」関連
- ・平成22年10月19日(火)―平成23年1月10日(月・祝) 「シャガール―ロシア・アヴァンギャルドとの出会い」関連
- ・平成23年3月15日(火)―5月8日(日) 「ハンプルク浮世絵コレクション展」関連

■読書室企画図書特集

夏休み子どもとしゃかん

よんで、みて、旅しよう！本の中の世界

夏休み子ども美術館2010子どもギャラリー「ここはどこ？～アートで行こう・ふしぎの旅～」の開催に関連して、児童向けの美術書や美術作品の鑑賞のヒントが書かれているものを中心に美術に関心を持ったり理解を深めてもらえたりするような絵本など14冊を集めた。ここで特集した本のリストは同展のワークシートの巻末に記載した。

会 期：平成22年7月21日(水)―9月5日(日)
会 場：読書室



「キッズコーナー 森のたね」の開設

本事業は、福岡市教育委員会が行う「ミュージアムの魅力向上」の取組のひとつとして、子ども連れの来館者に「もっと気軽に子どもと一緒に美術館を楽しんでもらおう」と設置をしたものである。2階ロビーに授乳室もふくめて約70㎡のスペースをとり、福岡で活躍する美術家・オーギカナエ氏(久留米市在住)に制作を依頼した。大濠公園にふさわしく、「森・水辺・空」を感じさせる空間で、壁に展開する森の風景は、マジックテープで着脱できるクッションで描かれており、クッションは自由につけかえて遊ぶことができる。雲を思わせるテーブルとイスや、カラフルなソファ、畳を設置し、絵本など、こども向けの図書も閲覧できるようにした。

場 所：2階ロビー
制 作：オーギカナエ氏(美術家)

オープニング企画「キッズコーナー 森のたね へようこそ」

オーギ氏にキッズコーナーにこめた思い、濱砂氏に福岡市(特に公共施設)の子育て環境などをうかがった上で、渡邊課長の子育て経験などもまじえフリートークを行った。

日 時：平成22年7月4日(日) 午前11時～11時30分
会 場：キッズコーナー

1. オープニングあいさつ：永松正彦(福岡市美術館長)

2. ミニトーク「子づれで美術館を楽しもう！」

パネラー：オーギカナエ氏(美術家、キッズコーナー制作者)

濱砂圭子氏(男女・子育て環境改善研究所理事長、福岡市美術館協議委員)

渡邊雄二(福岡市美術館学芸課長)

司 会：岩永悦子(福岡市美術館学芸員)

参 加 者：19人



協力事業

野村誠の左手の法則 ピアノのための 21 のダンス「福岡市美術館・REMIX」への協力

福岡市と財団法人福岡市文化芸術振興財団が主催する「2010福岡舞台芸術シリーズ 野村誠の左手の法則」のうち「ピアノのための21のダンス」公演に協力。前年度、当館展示室にて開催したワークショップをもとに作成されたピアノ曲の生演奏にあわせて、プロのダンサーによるコンテンポラリーダンスが当館ロビーにて披露された。

野村誠の左手の法則 ピアノのための 21 のダンス「福岡市美術館・REMIX」

日 時：平成 22 年 7 月 10 日(日) ①午後 1 時より ②午後 4 時より ※2 回公演
演 目：ピアノのための 21 のダンス「福岡市美術館・REMIX」
音 楽：野村誠作曲：ピアノのための 21 の小品「福岡市美術館」(2009)
出 演：(ピアノ)野村誠氏、(ダンス)遠田誠氏+高須賀千江子氏
会 場：1 階ロビー
参加者数：①110 名 ②80 名

「ママとこどものアートじかん 2010 ママのための連続アート講座」への協力

当事業はママとアートのこどもじかんプロジェクト実行委員会が開催する連続アート講座のうち、第5回目にあたる。当館で新設したキッズコーナーの紹介および未就園～未就学児童とその保護者の当館利用促進をはかるために企画された事業であるため、協力を行った。

ママとこどものアートじかん 2010 ママのための連続アート講座 第 5 回 「おでかけアート講座 こどもと一緒に美術館デビューツアー～福岡市美術館編」

日 時：10 月 23 日(土) 午前 10 時 10 分より約 2 時間
会 場：実技講座室、キッズコーナー、常設展示室
ツアーガイド：原田真紀氏(ママとアートのこどもじかんプロジェクト実行委員会代表)
ゲ ス ト：岩永悦子(福岡市美術館学芸員)
参 加 費：1,000 円
定 員：親子 10 組

内 容：1.「子連れで美術館攻略法」(原田真紀) 2.「福岡市美術館について」(岩永悦子) 3. 古美術展示室案内(岩永悦子) 4. 近現代美術展示室「子どもと鑑賞：5 作品」(原田真紀) 5. 施設見学

「第 5 回 NHK 福岡ハート・パーク」への協力

障がいのある人々の絵画作品を公募し、それをフラッグにして大濠公園の街路灯に展示し、人々の福祉への関心と理解が深まることを目的に毎年開催される展覧会。当館では公募作品の原画を展示する会場として協力した。

会 期：平成 22 年 10 月 26 日(火)～11 月 14 日(日)
会 場：1 階ロビー